

2018年(平成30年) 3月期 第3四半期

2017年(平成29年) 4月1日 ~ 2017年(平成29年) 12月31日

連結決算の概要

株式会社 ジェイ・エム・エス

(証券コード 7702)

2018年2月8日

業績ハイライト

～2018年3月期 第3四半期～



百万円

	2017年3月期 第3四半期	2018年3月期 第3四半期	増減額	対前年同四半期 増減率
売上高	41,773	41,983	209	0.5%
営業利益	1,053	548	△505	△47.9%
経常利益	1,397	713	△684	△49.0%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,174	497	△676	△57.6%
1株当たり 四半期純利益(※)	48円18銭	20円43銭	---	---

為替換算レート (期中平均)	米ドル	106.63円	111.70円
	ユーロ	121.17円	124.55円
	シンガポールドル	77.60円	81.60円

～増収減益～

売上	日本	-抗がん剤調製・投与クローズドシステム 「ネオシールド」の販売が拡大
	海外	-AVF針（血液透析用針）の販売が増加 -ダイアライザー（人工腎臓）の販売が減少

利益	-生産設備にかかる償却負担や販売費の増加により 営業利益は減少 -持分法による投資利益を計上
----	------------------------------------------------------

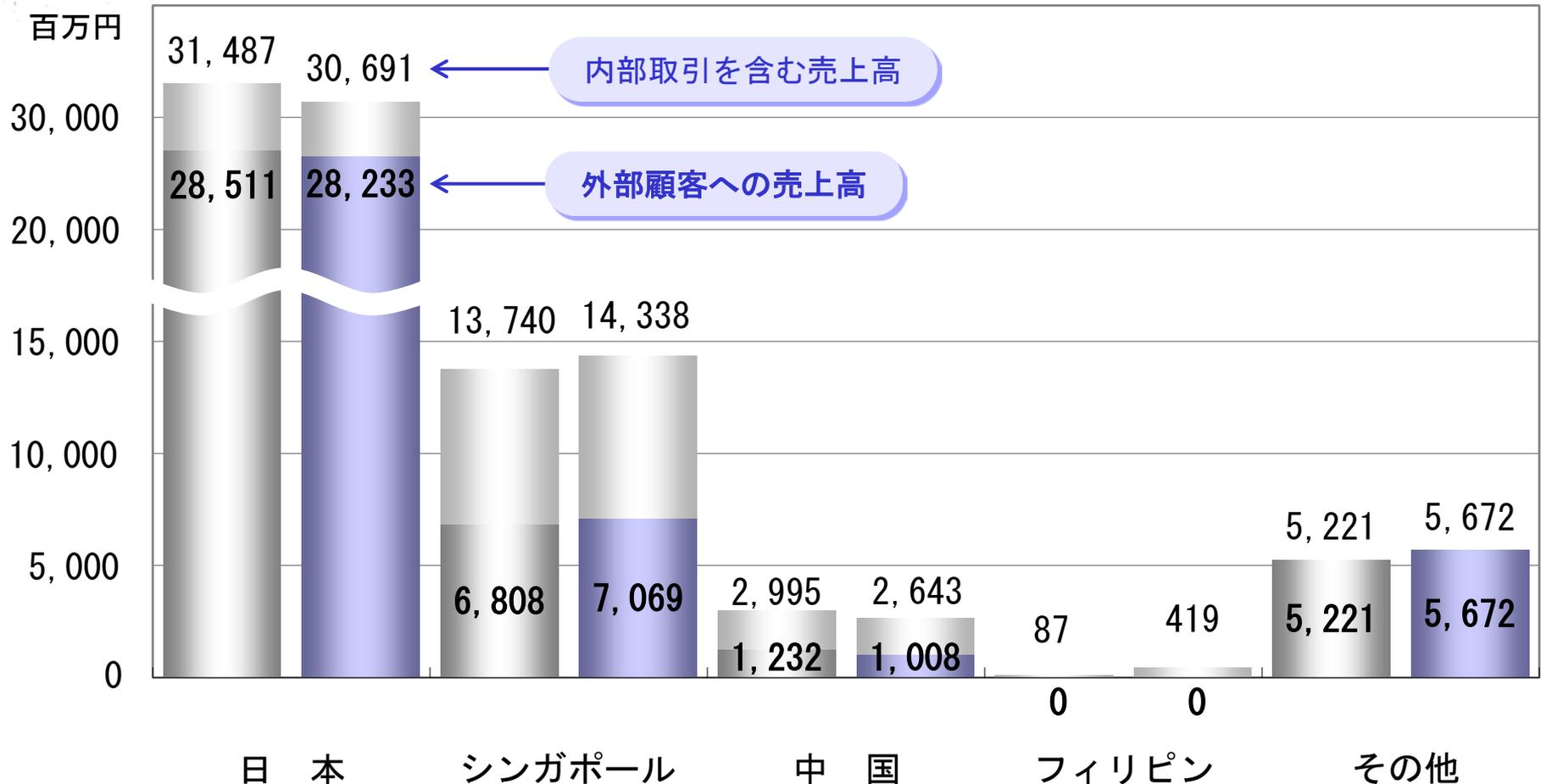
※2017年10月1日付で普通株式2株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

セグメント業績・売上高

※所在地別

2017年3月期 第3四半期

2018年3月期 第3四半期



*報告セグメントの区分及び名称の記載方法を変更しています。詳しくはP6をご参照ください。

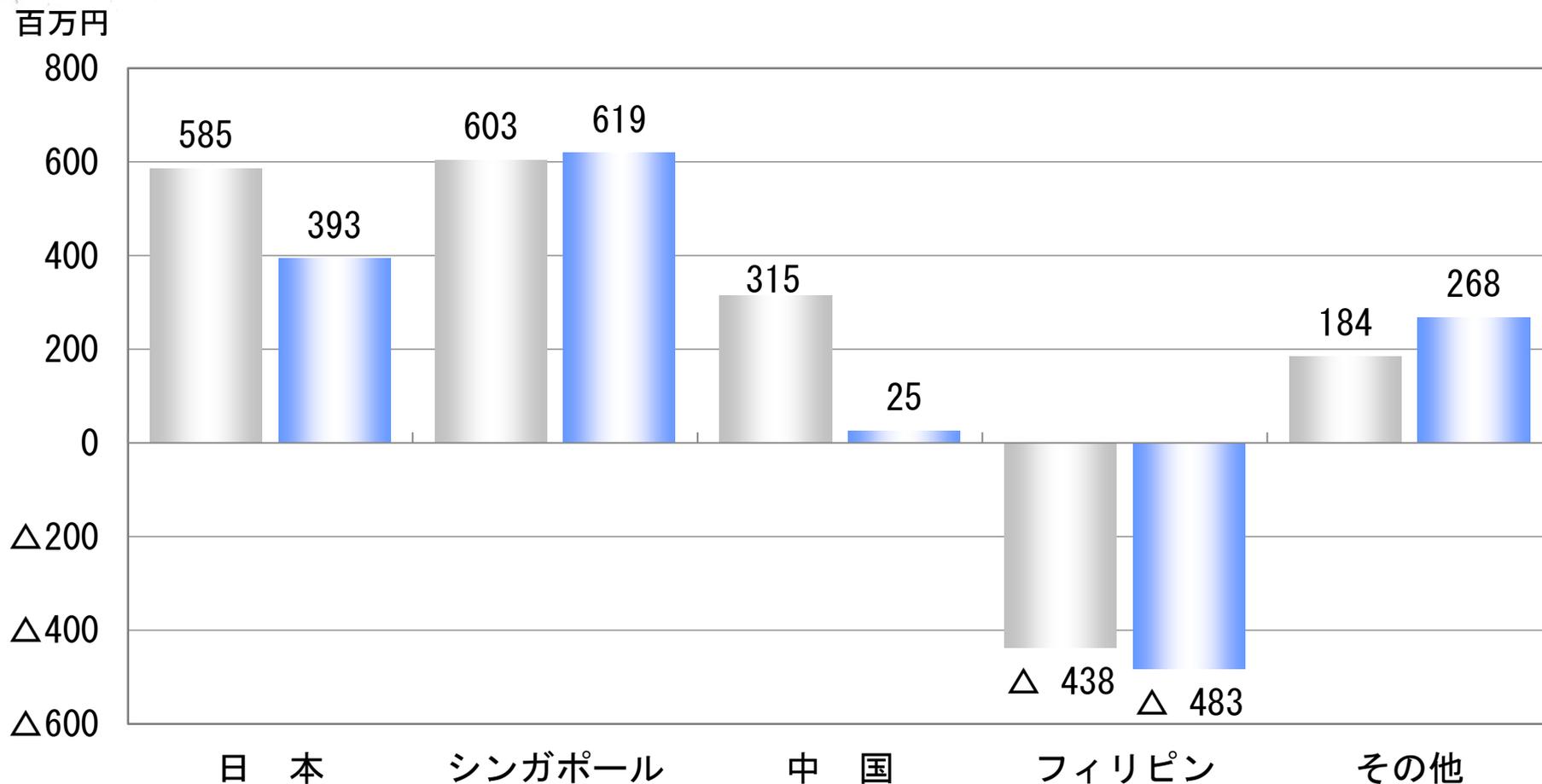
セグメント業績・利益

※経常利益ベース



2017年3月期 第3四半期

2018年3月期 第3四半期



*報告セグメントの区分及び名称の記載方法を変更しています。詳しくはP6をご参照ください。

セグメント業績

※所在地別

対前期増減率



日本

売上高	30,691 百万円	△2.5%
セグメント利益	393 百万円	△32.8%

抗がん剤調製・投与クローズドシステム「ネオシールド」の販売が拡大したものの、セグメント間の内部売上高が減少。利益は子会社からの受取配当金の計上があるものの、減収の影響に加え販売費の増加により減少。



シンガポール

売上高	14,338 百万円	4.3%
セグメント利益	619 百万円	2.7%

北米向けのAVF針の販売が増加。利益は増収の効果に加え製造原価の低減により増加。

※シンガポールは、インドネシアの現地法人を含んでおります。



中国

売上高	2,643 百万円	△11.8%
セグメント利益	25 百万円	△91.9%

中国国内向けのダイアライザーの販売が減少。利益は減収の影響により減少。



抗がん剤調製・投与クローズドシステム「ネオシールド」

抗がん剤を調製・投与する際に使用される医療機器です。閉鎖系の機構により薬剤飛散リスクを軽減し、医療従事者の方々を抗がん剤曝露から守ります。

セグメント業績

※所在地別

対前期増減率



フィリピン

売上高	419 百万円	378.1%
セグメント損益	△483 百万円	—%

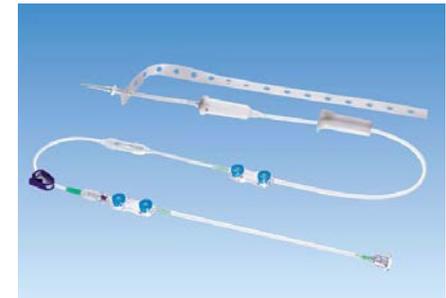
日本向けの輸液セットの販売が増加。損益は増収の効果があるものの、為替差損が増加したため減少。



その他

売上高	5,672 百万円	8.6%
セグメント利益	268 百万円	45.6%

※その他は、国内子会社及びドイツ、アメリカ、韓国の現地法人の事業活動を含んでおります。



ニードルレスアクセスポート 「プラネクタ」付輸液セット

輸液セットは人間の体液に必要な水分や電解質を投与するために使用する医療機器です。「プラネクタ」は輸液セット等に対し金属針を使用せず接続が可能なニードルレスアクセスポートで、患者さんにとっては薬液や血液の汚染要因を減少させ、医療従事者の方々にとっては針刺し事故を防止するため、双方への感染リスクを大幅に低減します。

～第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分及び名称の記載方法を変更しています～

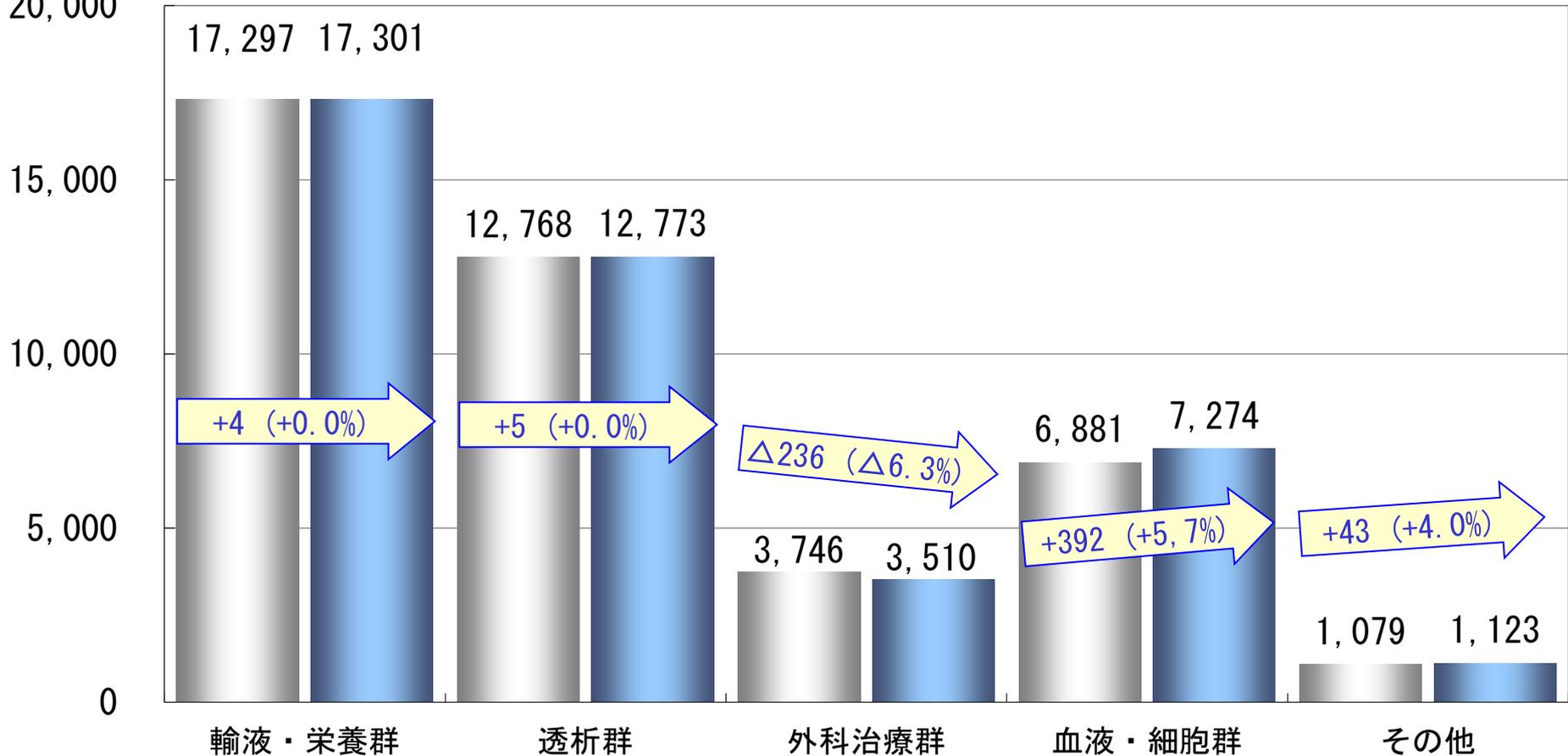
- ・従来「その他」に含まれていた「フィリピン」は重要性が増したため、報告セグメントとして記載しています。
- ・従来の「ドイツ」及び「アメリカ」は「その他」に含めています。
- ・従来の「東南アジア」は「シンガポール」に名称変更しています。
- ・前期のセグメント情報は、変更後の区分及び名称により作成したものを記載しています。

システム別売上高

百万円
20,000

2017年3月期 第3四半期

2018年3月期 第3四半期

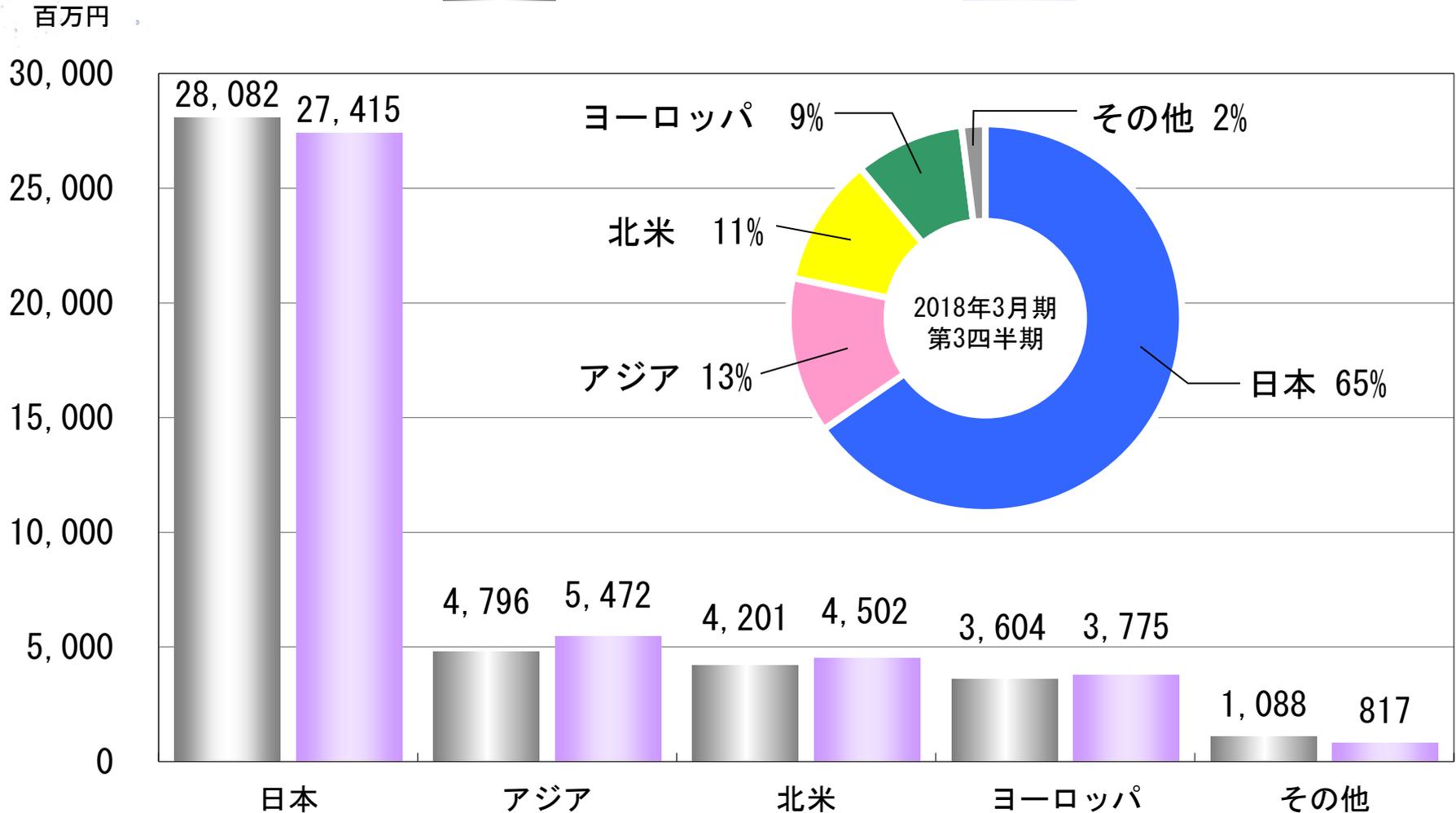


*組織再編に伴いシステム別の記載区分を変更しています。前期のシステム情報は、変更後の区分及び名称により記載しています。

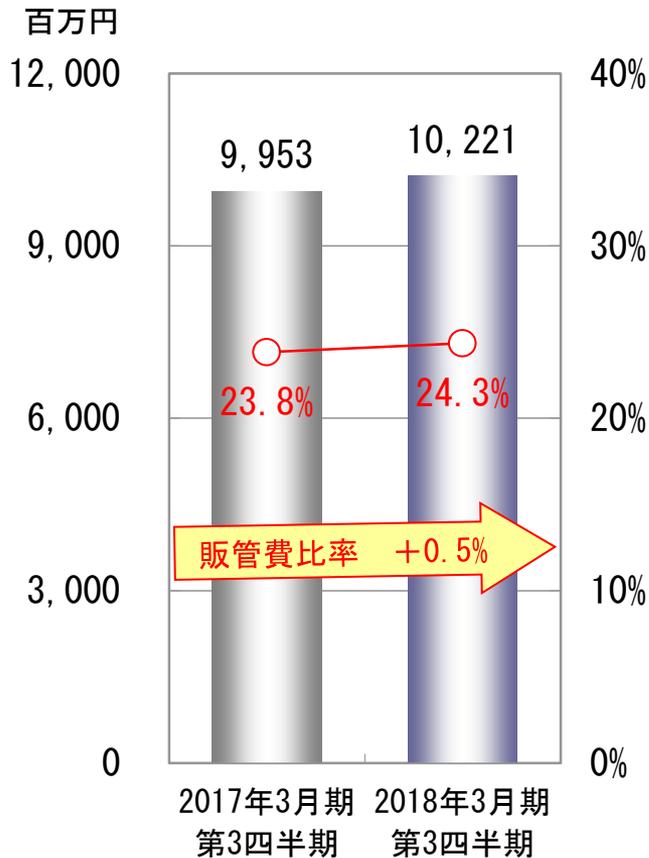
地域別売上高

※顧客所在地別

■ 2017年3月期 第3四半期 ■ 2018年3月期 第3四半期

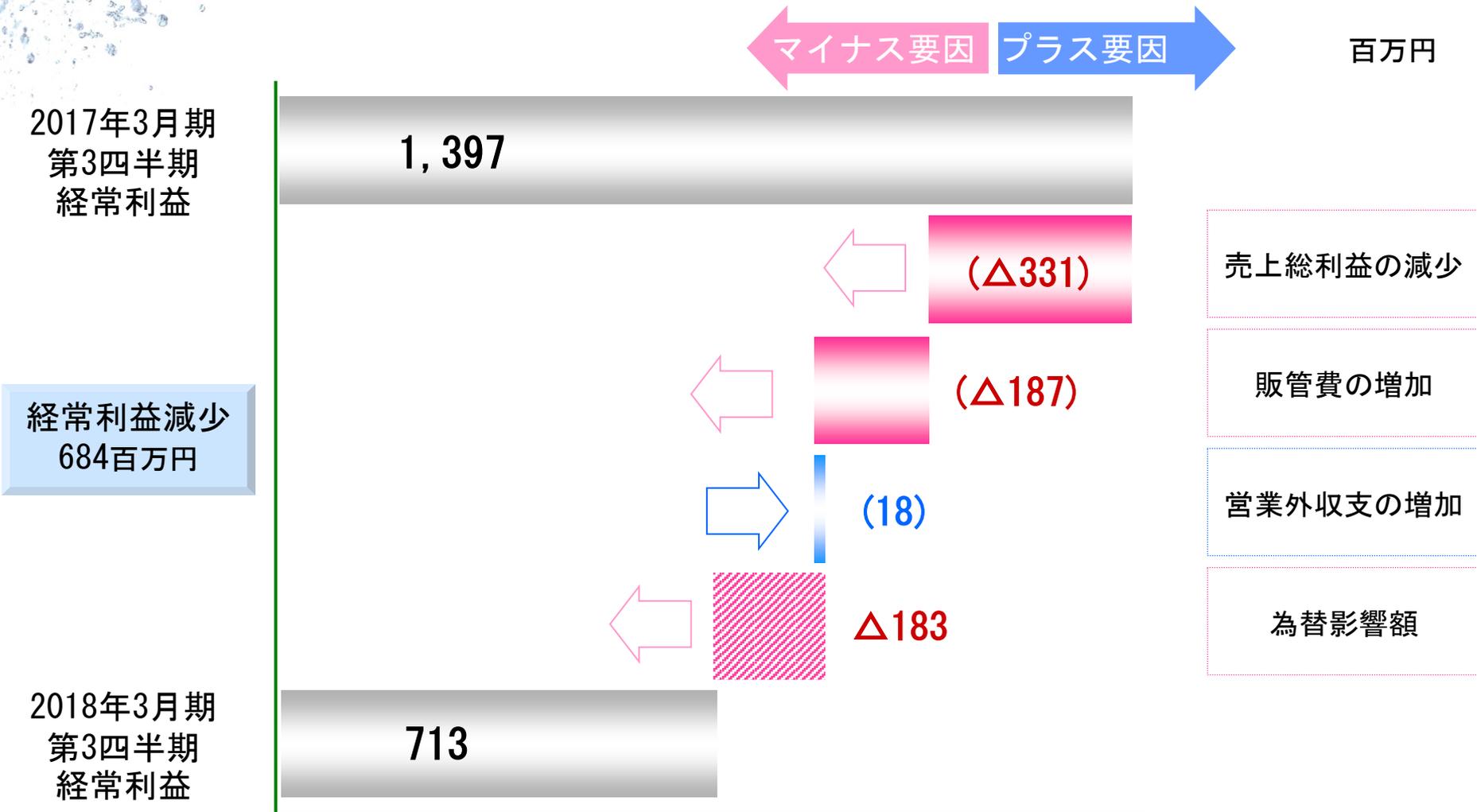


販売費及び一般管理費



	2017年3月期 第3四半期	2018年3月期 第3四半期	増 減	対前期 増減率
人 件 費	4,291	4,345	53	1.3%
運 送 費	1,186	1,210	24	2.1%
研究開発費	1,105	1,072	△33	△3.0%
減価償却費	287	258	△29	△10.3%
そ の 他	3,082	3,334	251	8.2%
計	9,953	10,221	267	2.7%

経常利益：前期実績との比較



()内は為替影響を除く

2018年3月期 通期連結業績予想

百万円

	2017年3月期 実績	2018年3月期 予想	対前期 増減率
売上高	55,574	56,000	0.8%
営業利益	1,106	700	△36.7%
経常利益	1,451	900	△38.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,182	600	△49.3%
1株当たり 当期純利益(※)	48円51銭	24円62銭	---

為替レート (期中平均)

米ドル	108.38円	112円
ユーロ	120.33円	127円
シンガポールドル	78.26円	82円

※2017年10月1日付で普通株式2株につき1株の割合で株式併合を行っております。

前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益を算定しております。

※日付： お知らせ開示日

- 「広島東洋カープ」とのコラボレーション商品「カープ勝ちマスク」発売
2017年10月25日
- 株式併合による1株に満たない端数の処理に伴う自己株式の買取りに関するお知らせ
2017年10月18日
- 中期経営計画策定に関するお知らせ
2017年9月1日
- 多用途透析装置「JMS透析用コンソール GC-X01」を開発
2017年6月7日



「カープ勝ちマスク」



多用途透析装置
「JMS透析用コンソール GC-X01」



人と医療のあいだに…

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。